

審 査 評

第59回を迎えた本年の出品数は、小学生の部131点、中学生の部28点の合計159点で、発案者の個性を感じさせるユニークな作品が多く、バラエティーに富んでいたと思います。

猛暑対策に関する様々なアイデアが込められた作品、身の回りにあるちょっとした不便を解消しようとする作品、高齢者や障害がある方に対する深い愛情が込められた作品が多くありました。さらに、付属説明書や画像を使って創作過程や機能をうまく表した作品も多くありました。

しかし、インターネット等で紹介されているアイデアをそのまま取り入れた作品や、出品票が説明不足でアイデアが理解しづらい作品も一部に見受けられました。作品は丁寧な仕上げにし、かつ出品票は自分なりの工夫やアイデアが他の人にもわかるように、図や写真等で説明してください。

なお、入賞しなかった作品の中にも、ユニークな作品が多くありました。

どうか作品のひとつひとつをじっくり見て、作者の思いを汲み取ってください。

そして、もう一度、私たちの身のまわりを眺め、気付いたアイデアを最新の技術を活用した作品に仕上げ、来年出品してください。

審 査 委 員 会